

社会資本総合整備計画

阿波市^{あわし}やすらぎ^{くうかんそうぞう}空間創造地区^{ちく}都市再生^と整備^し計画^{さいせいせいびけいかく} (第3回変更)

平成30年10月

徳島県阿波市

社会資本総合整備計画

平成30年10月31日

計画の名称		阿波市やすらぎ空間創造地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当						
計画の期間		平成26年度 ～ 平成31年度（6年間）					交付対象		阿波市									
計画の目標																		
【大目標】新庁舎をはじめとした3つの拠点と拠点を結ぶ軸により、住民が安全・安心かつ健康に暮らせる環境を形成するとともに、観光客や市民の交流を促進し地域の活性化を図ります。 目標①快適な住環境の整備による市民の健康づくり（かいてき空間） 目標②大規模災害に備えた防災対策の強化（すこやか空間） 目標③地域資源を活かした観光・地域交流の促進（にぎわい空間）																		
計画の成果目標（定量的指標）																		
・市民の健康増進を図るため、積極的な健康づくりの機会の創出を進め、年間のウォーキングイベント総参加者数の倍増（H24：300人→H30：600人）を目指す。 ・市内外の交流機会の拡大による観光・地域交流の促進を図り、観光入込客数の年平均増減率を-5.5%（H24）から-3.0%（H31）へ歯止めをかけることを目指す。																		
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値				備考						
地区内ウォーキングイベントの年間総参加者数を計測。 自主防災地区連合組織による総合防災訓練の延べ参加者数を計測。 地区内における5年間の観光入込客数の年平均増減率を算出。								当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)							
								300人	450人	600人								
								0人	1,500人	3,000人								
								-5.5%	-5.5%	-3.0%								
								全体事業費		合計 (A+B+C+D)	1,330.5百万円					A	1,330.5百万円	B
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
1-A-1	都市再生	一般	阿波市	直接	阿波市	阿波市やすらぎ空間創造地区都市再生整備計画	地域生活基盤施設、高質空間形成施設、既存建造物活用事業、地域創造支援事業等 19,097ha	阿波市	H26	H27	H28	H29	H30	H31		—	—	
合計															1,330.5			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30	H31				
合計															0			
C 効果促進事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区 名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30	H31	0			
合計															0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30	H31	0			
合計															0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

交付金の執行状況

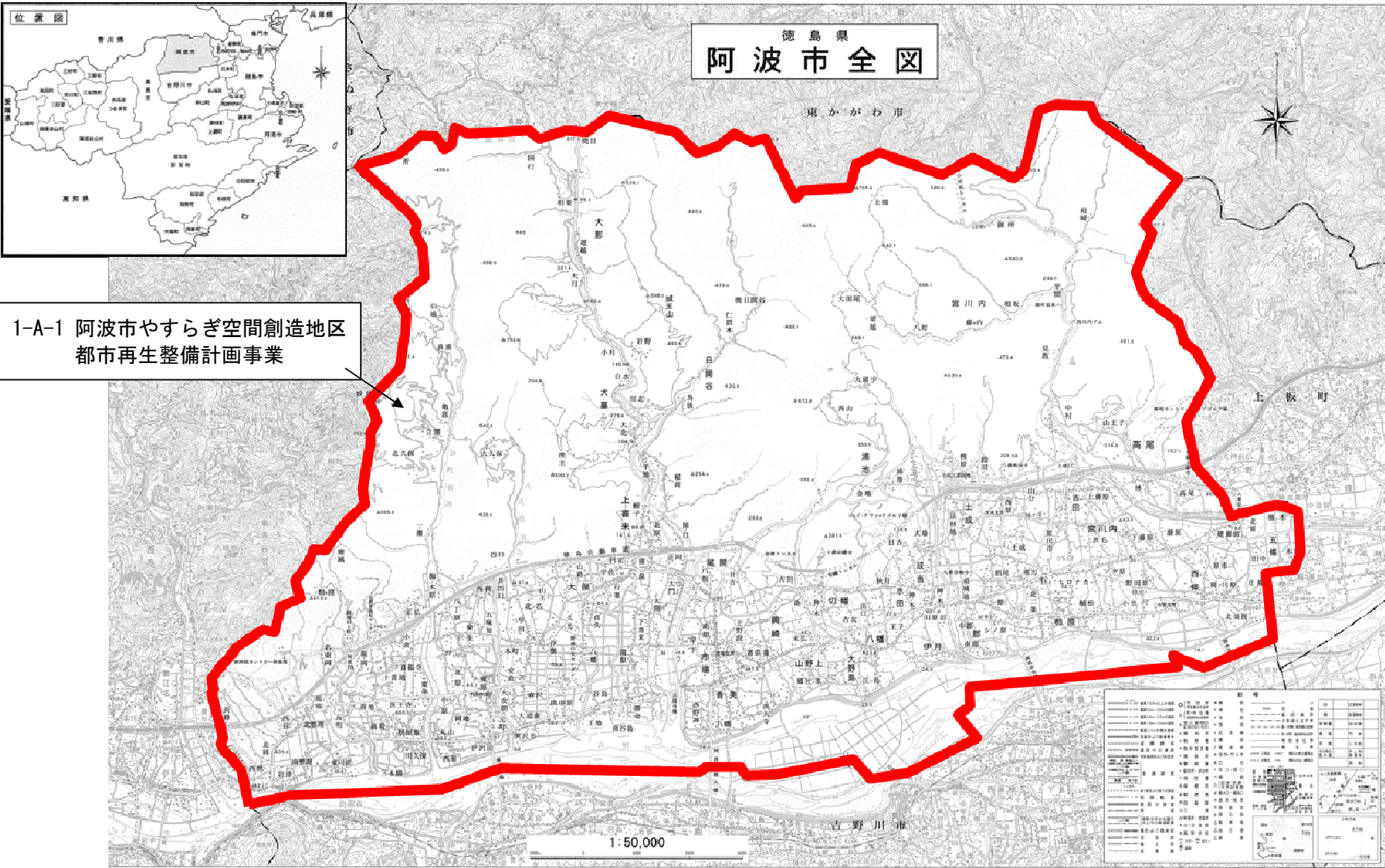
(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
配分額 (a)	49	36	21	72	93	158
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	4	0	0	△35
交付額 (c=a+b)	49	36	25	72	93	123
前年度からの繰越額 (d)	0	21	18	0	9	39
支払済額 (e)	28	39	43	63	63	127
翌年度繰越額 (f)	21	18	0	9	39	35
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	5	15
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	9.3%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-	-

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式2) 参考図面

計画の名称	阿波市やすらぎ空間創造地区都市再生整備計画事業		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成31年度 (6年間)	交付対象	阿波市



都市再生整備計画(第3回変更)

あ わ し 阿波市 く う か ん そ う ぞ う ち く 空間創造地区

と く し ま け ん 徳島県 あ わ し 阿波市

平成30年10月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県	徳島県	市町村名	阿波市	地区名	阿波市やすらぎ空間創造地区	面積	19,097ha
計画期間	平成 26 年度	～	平成 31 年度	交付期間	平成 26 年度	～	平成 31 年度

【大目標】新庁舎周辺をはじめとした3つの拠点と拠点を結ぶ軸により、住民が安全・安心かつ健康に暮らせる環境を形成するとともに、観光客や市民の交流を促進し地域の活性化を図ります。								
目標①快適な住環境の整備による市民の健康づくり（かいてき空間）								
目標②大規模災害に備えた防災対策の強化（すこやか空間）								
目標③地域資源を活かした観光・地域交流の促進（にぎわい空間）								
目標設定の根拠								
まちづくりの経緯及び現況 （まちづくりの経緯） - 本市は、徳島県中央北部の吉野川北岸に位置するまちで、平成 17 年 4 月 1 日に、旧吉野町・旧土成町・旧市場町・旧阿波町のあわ北4町の合併によって誕生した。合併以降、新市まちづくり計画・総合計画に基づき、郷土愛と奉仕精神あふれる人や水と緑の豊かな自然、阿波の東西交通の要衝としての位置づけ、県下有数の農業地帯としての歩みなど、本市ならではの特性・資源を生かした魅力あるまちづくりを進めているところである。 - 本市の総人口は平成17年4月の41,076人から平成22年には39,247人と減少傾向にある。また、高齢化率は平成22年4月時点で27.7％と年々増加傾向にあり、人口減少・高齢化が進行している。人口問題研究所の推計によると、平成52年には2万5千人程度まで減少することが示されている。 - また、高齢化が進むなか、本市では糖尿病による死亡率が高く、糖尿病死亡率全国ワースト1位の徳島県の中でも高い状況である。 - さらに、本地区では、中央構造線活断層帯による直下型地震、集中豪雨等による吉野川の河川氾濫等の発生が懸念される災害において脆弱な面がある。特に、排水路など旧町境の未接続箇所や内水被害による特定地域の被災など、防災機能が十分に整備されていない。 - 一方、本地区は国指定天然記念物「阿波の土柱」をはじめ、四国霊場八十八箇所札所の4つの札所、さらには御所のたらいうどんや吉野レタス、土成のイチゴ等の特産品など、本市の豊かな自然・歴史を背景とした観光・交流資源が多く位置しており、年間120万人程度の観光客が訪れるポテンシャルを有している。しかし、日帰り客がほとんどを占めるほか、観光客が繰り返し訪れる魅力ある観光基盤として活用されていない。 - 市民意向調査では、市への愛着度（約8割）定住意向（9割弱）はかなり高く、郷土愛が育まれている状況にある。また、「健康」「快適空間」「環境保全」に向けた取り組みが期待されている。 （まちづくりの現況） - 糖尿病による死亡率が高いことから、本市では生活習慣や食習慣の改善による市民の健康づくりに取り組んでいる。特に、市民の運動を促す回遊空間を創出するため、住民をはじめとした協働体制により、広域農道沿いを中心に桜をはじめとした植樹（やすらぎ空間整備事業）を実施している。 - また、均衡ある発展や新たな魅力づくり、地域防災力の向上に向けて阿波市新庁舎及び交流防災拠点施設を建設中である。さらに、地産地消や食育、農業振興の拠点として学校給食センターを建設中である。 - 観光については、近隣市との共同による観光キャンペーンの実施やタウン情報誌との連携などによる観光振興に努めている。								
課題								
（市の均衡ある発展） - 本市は4町の合併によって誕生していることから地域によってまちづくりの整備状況が異なり、内水被害が頻発する地域の存在や旧町間の連携が不足している状況にある。そのため、建設中の新庁舎を核とし、市内の均衡ある発展を進めていく必要がある。 （市民の健康づくり） - 少子高齢化が進行し社会保障費の増大が懸念される中、糖尿病死亡率が高い本市においては糖尿病をはじめとした生活習慣病の予防に向けて、生活習慣や食習慣の改善による健康づくりに取り組むことが喫緊の課題である。散策やジョギング等の身体を動かす機会の創出を行うとともに、地産地消によるバランスの取れた食事の提供や食育を推進し良好な生活習慣を身につけることが重要である。さらに、市民の健康づくりの拠点、地域交流の場となる公園については、整備状況が不十分であるとともに既存公園は老朽化が進んでいるため、新たな公園の整備や既存公園の改修を行う必要がある。 （地域防災力の向上） - 中央構造線活断層帯による直下型地震、集中豪雨等による吉野川等の河川氾濫などの災害発生が懸念されるなか、本市においては集中豪雨等による内水被害が頻発する地域や倒壊の危険性のある老朽化公共施設が多く残されている。そのため、災害に強いまちの形成に向けて内水対策等の適切な防災・減災対策や自主防災組織等の地域防災力の強化を図る必要がある。 （地域活性化、定住促進） - 人口減少や景気低迷等によって本市の基盤産業である農業をはじめ、地域のにぎわいや活気が衰退傾向にある。大幅な人口増加が見込まれない社会情勢において、観光振興等によって交流人口の増加を図り、地域経済の活性化を図ることが求められている。特に近年の観光ニーズは、癒しや健康づくり、味覚、自然体験を求める傾向が強まるなど、ますます多様化・高度化してきており、こうした変化に対応した、魅力づくりや着地型観光の展開が求められる。そのため、地区内に点在する観光資源の周遊化による着地型観光の実現に向けた取り組みを行うとともに、農業と連携した体験型観光等の新たな仕組みづくりが必要となる。								
将来ビジョン（中長期）								
（第1次阿波市総合計画：後期計画） - 本市のまちづくりの基本理念として「協働・創造・自立のまちづくり」、将来像として「あすに向かって人の花咲くやすらぎ空間・阿波市」を掲げている。そして、やすらぎ空間（生活3空間の創造）として、心身共に健康で、安全・安心に生きがいを持って暮らすことができる「すこやか空間」、生活する上で、美しく気持ちよく過ごすことができる「かいてき空間」、明るく活気にあふれ、共に夢と希望を持つことができる「にぎわい空間」の実現に取り組んでいる。特に、以下の重点テーマについて、積極的な取り組みを実施している。 重点テーマ1：食と癒しのまちづくりー農業立市と観光・交流機能の強化ー - 観光・交流拠点の整備充実をはじめ、食と癒しのまちづくりをリードする取り組みを重点的に進める。 重点テーマ2：阿波っ子いきいきまちづくりー子育て環境と子どもの教育環境の充実ー 重点テーマ3：支え合い共に生きる地域づくりー地域における福祉・安全・自治活動の促進ー - 地域ぐるみの健康づくり活動の促進、地域における防災・安全活動の促進、コミュニティ活動の活性化支援をはじめ支え合いながら共に生きることができる地域づくりをリードする取り組みを積極的に進める。								
目標を定量化する指標								
指 標		単位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
年間ウォーキングイベント参加者数		人/年	地区内ウォーキングイベントの年間総参加者数	市民の健康増進を図るため、積極的な健康づくり機会の創出を進め、年間のウォーキングイベント総参加者数の倍増を目指す。	300	平成24年度	600	平成30年度
総合防災訓練の延べ参加者数		人	自主防災地区連合組織による総合防災訓練の延べ参加者数	地域防災力の向上に向けて、自主防災地区連合組織による総合防災訓練を支援し、継続的な活動展開を目指す。	0	平成25年度	3,000	平成30年度
観光入込客数の増減率		%/年	地区内における5年間の観光入込客数の平均増減率	市内外の交流機会の拡大による観光・地域交流の促進を図り、観光入込客数の減少傾向に歯止めをかけることを目指す。	-5.5	平成24年度	-3.0	平成31年度

都市再生整備計画の整備方針

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針① 桜をはじめとした花と緑のネットワークによる健康まちづくり - 生活習慣の改善に向けて、市民の運動を促す市内周遊空間の充実を図るため、市内を東西に結ぶ阿讃山麓広域農道（桜ロード）沿いへ桜等の植樹を行う。 - 市民の健康づくりと運動の習慣化、地域への愛着の醸成を図るため、アダプト制度を導入し、植樹した桜の下草刈りや周辺道路の清掃等の維持管理を促進する。また、アダプトサインの設置を行い、企業や団体等の参画を促す。 - 市民の健康づくりと運動の習慣化を図るため、本計画による整備施設を活用したウォーキングイベントの開催を行う。併せて、ウォーキング成果が把握できるよう、ウォーキングマップ（距離や消費カロリー等の表示）の作成やウォーキングコースの案内板の設置を行う。 - 市民の健康づくりの拠点として、既存施設（金清温泉周辺の池）を活用した遊歩道の整備・公園化を行うとともに、宮川内谷川沿に公園の整備を行う。	■ 地域生活基盤施設（健康づくり緑地） ■ 地域生活基盤施設（もてなし広場） ■ 地域生活基盤施設（案内板） ■ 高質空間形成施設（阿讃山麓広域農道沿の植樹） □ 地域創造支援事業（ウォーキングマップ作成事業） □ 地域創造支援事業（桜ロードアダプト推進事業） □ 地域創造支援事業（桜ロードウォーキング運営事業）
整備方針② 大規模災害に備えた安全・安心の防災まちづくり - 新庁舎建設（庁舎統合）に伴い旧耐震の公共施設を撤去または改修し、その跡地または既存施設を利用した市民の交流・憩いの場、また、災害時の避難場所・活動場所等となる地域防災拠点の整備を行うとともに、旧庁舎書庫を活用し防災倉庫へ改修を行う。 - 内水被害が頻発する地域において生活排水・雨水排除対策として排水機場等の整備を行い、快適な住環境づくりに努めるとともに内水被害の低減を図る。 - 自主防災組織連合会や地域と学校が行う総合防災訓練等の活動支援を行う。	■ 地域生活基盤施設（庁舎周辺交流防災広場） ■ 地域生活基盤施設（西林樋門排水ポンプ場） ■ 既存建造物活用事業（旧阿波本庁舎利活用事業） □ まちづくり活動推進事業（地域防災力活性化事業）
整備方針③ 地域資源を活かした観光・地域交流によるにぎわいまちづくり - 新庁舎北側山地を利用し、健康づくりや四国霊場札所参拝者の休息スペースとして、さらには大規模なイベント空間としても利用可能なもてなし空間を整備する。 - 本市の特徴である農業を活かした地域内交流の場を創出するため、ふれあい公園の整備を行う。 - 市内外の交流促進を図るため、阿波市ハーフマラソン大会に併せて、市の特産品である“たらいうどん”や、“吉野レタス”等の農産物の販売等による地域間交流イベントを開催する。 - 県外、市外からの観光客のために、観光主要地点（阿波の土柱・四国霊場等）にルート案内、全市案内板などの標識設置を行い、観光周遊を促進する。	■ 地域生活基盤施設（交流広場） ■ 地域生活基盤施設（案内板） ■ 地域生活基盤施設（浦ノ池ふれあい広場） □ 地域創造支援事業（ふれあい広場） □ 地域創造支援事業（地域間交流イベント運営事業） □ 事業活用調査（サイン計画策定事業）
その他 ○観光拠点づくり 大規模農道沿いにある観光資源 ふれあいゾーン：阿波の土柱（国指定天然記念物）・阿波土柱の湯・土柱そよかぜ広場…市民と観光客のふれあいや、家族のふれあいを意識した拠点づくりを行う。 もてなしゾーン：新庁舎周辺から金清自然公園周辺…ため池百選にも選ばれた金清池と四季折々の植樹で観光客をもてなす拠点とする。 健康づくりゾーン：中央広域環境センター周辺…ゲートボール場・グランドゴルフ場など健康づくりを意識した施設やビオトープによる癒しをもたらし空間整備を行う。 四国霊場札所：七番札所（十楽寺）・八番札所（熊谷寺）・九番札所（法輪寺）・十番札所（切幡寺） ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 市民との協働による桜回廊の景観の維持管理及びイベントによるプロモーション活動等を継続的に進めるまちづくり活動組織の設立を検討する。 ○関連事業 （阿波市新庁舎整備事業） 老朽化した既存庁舎や非効率的な行政運営の解消を図るとともに、市の均衡ある発展に向けて庁舎機能を集約した新庁舎の建設を行っている。 （交流防災拠点施設整備事業） 新庁舎の建設とあわせて、市民が集まる場、また災害時に人と物資の拠点機能を担い災害時に柔軟な利用ができる施設の建設を行っている。 （学校給食センター整備事業） 新鮮で安全・安心な給食を提供するとともに、学校給食への地場農産物の安定的供給を図り、食育や地産地消等の推進する給食センターの建設を行っている。 （阿波市ハーフマラソン運営事業） 市内外の交流促進を図るため、阿讃山麓広域農道（桜ロード）を活用したハーフマラソン大会の開催を行う。 （運転免許更新センター整備事業） 旧阿波本庁舎を活用して市民の利便性向上と交流人口の増加やそれに伴う経済効果等を期待し、運転免許更新センターの誘致に取り組んでいる。	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,330.5	交付限度額	532.2	国費率	0.4
---------	---------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内			交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		事業費	うち官負分担	うち民負分担	
地域生活基盤施設	緑地	健康づくり緑地	阿波市	直	A=10,000㎡	H26	H27	H26	H27	78.4	78.4	78.4		78.4
地域生活基盤施設	広場	もてなし広場	阿波市	直	A=25,000㎡	H29	H30	H29	H30	150.7	150.7	150.7		150.7
地域生活基盤施設	広場	交流広場	阿波市	直	A=10,330㎡	H30	H31	H30	H31	128.5	128.5	128.5		128.5
地域生活基盤施設	広場	市場支所周辺交流防災広場	阿波市	直		H27	H29	H27	H29	73.4	73.4	73.4		73.4
地域生活基盤施設	広場	土成支所周辺交流防災広場	阿波市	直		H28	H30	H28	H30	75.6	75.6	75.6		75.6
地域生活基盤施設	広場	吉野支所周辺交流防災広場	阿波市	直		H28	H30	H28	H30	49.9	49.9	49.9		49.9
地域生活基盤施設	広場	阿波本庁舎周辺交流防災広場	阿波市	直		H30	H31	H30	H31	10.2	10.2	10.2		10.2
地域生活基盤施設	広場	浦ノ池ふれあい広場	阿波市	直	A=261㎡	H30	H30	H30	H30	35.0	35.0	35.0		35.0
地域生活基盤施設	地域防災施設	西林樋門排水ポンプ場	阿波市	直	流域=0.8km ²	H26	H26	H26	H26	154.5	154.5	154.5		154.5
地域生活基盤施設	情報板	案内板	阿波市	直		H30	H30	H30	H30	20.1	20.1	20.1		20.1
高質空間形成施設	緑化施設等	阿讃山麓広域農道沿の植樹	阿波市	直		H27	H28	H27	H28	2.3	2.3	2.3		2.3
既存建造物活用事業	高次都市施設、 地域生活基盤施設	旧阿波本庁舎利活用	阿波市	直	A=1,632㎡	H29	H31	H29	H31	483.0	483.0	483.0		483.0
合計										1,261.6	1,261.6	1,261.6	0	1,261.6

...A

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業	ふれあい広場	阿波の土柱周辺	阿波市	直	A=9,000㎡	H26	H28	H26	H28	56.0	56.0	56.0		56.0
	ウォーキングマップ作成事業	阿波市全体	阿波市	直	マップ作成	H27	H29	H27	H29	0.5	0.5	0.5		0.5
	桜ロードアダプト推進事業	阿讃山麓広域農道	阿波市	直	員園軒支援、アダプトサイン設置	H29	H29	H29	H29	0.1	0.1	0.1		0.1
	桜ロードウォーキング運営事業	阿讃山麓広域農道周辺	阿波市	直	企画運営	H27	H30	H27	H30	1.6	1.6	1.6		1.6
	地域間交流イベント運営事業	阿讃山麓広域農道周辺	阿波市	直	企画運営	H26	H30	H26	H30	5.0	5.0	5.0		5.0
事業活用調査	サイン計画策定事業	阿波市全体	阿波市	直	計画策定	H29	H29	H29	H29	4.3	4.3	4.3		4.3
まちづくり活 動推進事業	地域防災力活性化推進事業	阿波市全体	阿波市	直	防災訓練支援	H26	H30	H26	H30	1.4	1.4	1.4		1.4
合計										68.9	68.9	68.9	0	68.9

合計(A+B)	1,330.5
---------	---------

[illegible]

都市再生整備計画の区域

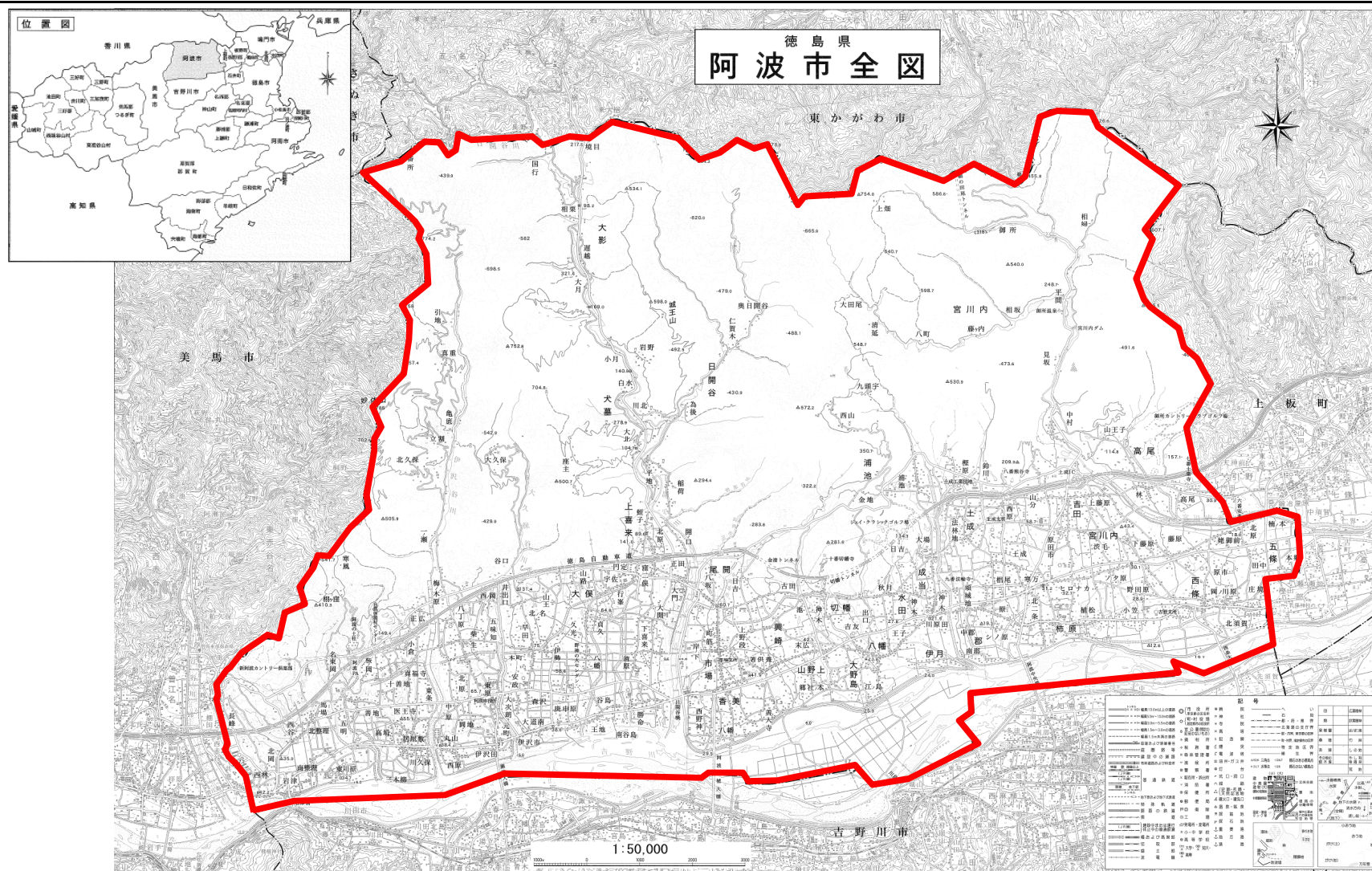
阿波市やすらぎ空間創造地区(徳島県阿波市)

面積

19,097 ha

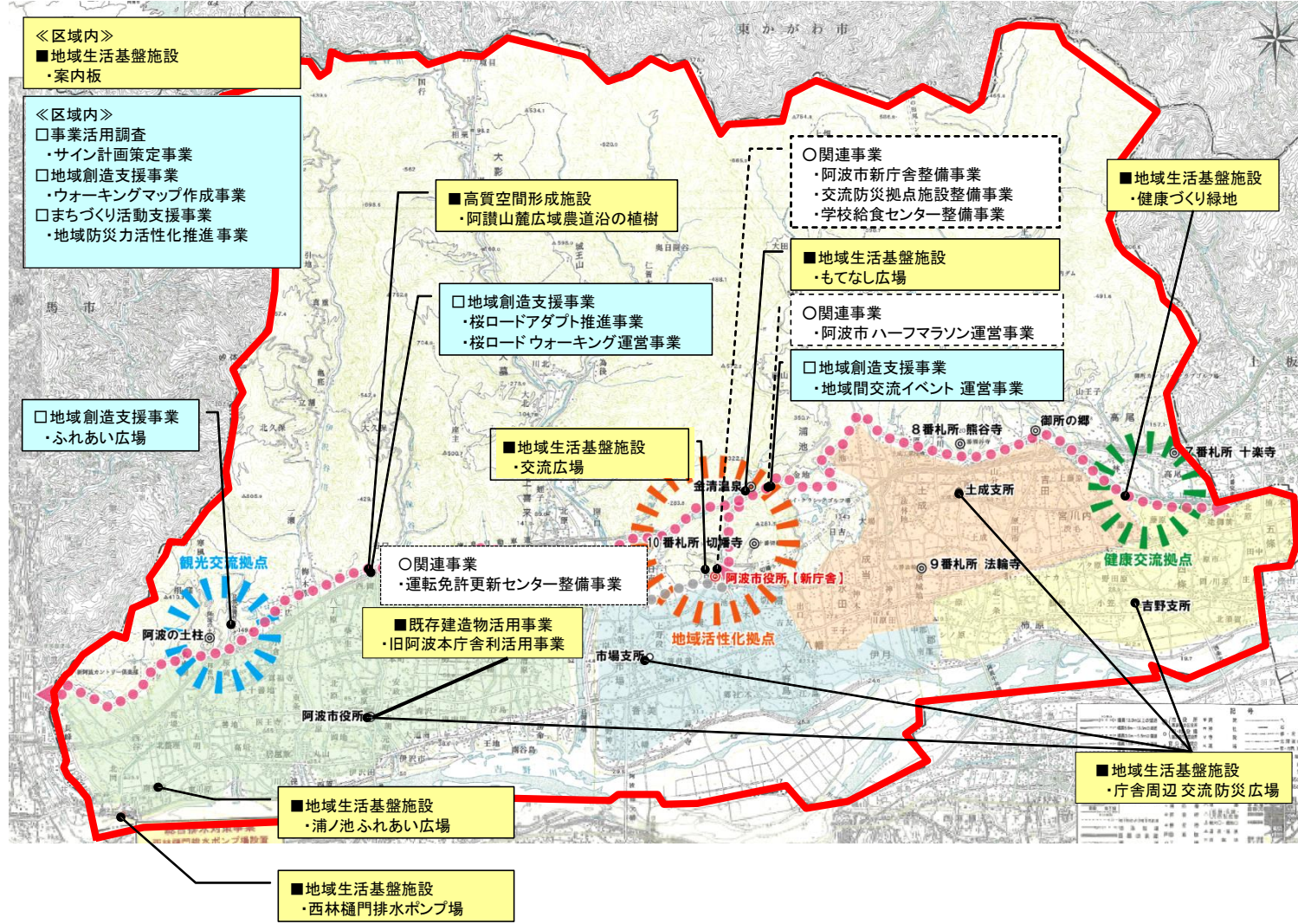
区域

区域	阿波市全域
----	-------



阿波市やすらぎ空間創造地区(徳島県阿波市) 整備方針概要図

目標	新庁舎周辺をはじめとした3つの拠点と、1つの軸により住民が安全・安心かつ健康に暮らせる環境を形成するとともに、観光客や市民の交流を促進し地域の活性化を図ります。	代表的な指標	年間ウォーキングイベント参加者数 (人/年)	300 (平成24年度) → 600 (平成30年度)
			総合防災訓練の延べ参加者数 (人)	0 (平成25年度) → 3,000 (平成30年度)
			観光入込客数の増減率 (%/年)	-5.5 (平成24年度) → -3.0 (平成31年度)



凡 例	
■	基幹事業
□	提案事業
---	関連事業